

『夕焼け』の群読その2

グループ台本作成と練習

個人台本をもとに、グループで読み方を検討させました。グループは以前『枕草子』で行ったときと同じように男女混合6人から7人の修学旅行の班をそのまま使いました。話し合いがスムーズに進むように机を円形にして行いました。実際に、みんなで声を出しながら台本を作っていくよう指示しました。

グループ台本ができたグループから練習をさせました。練習をしていく中で台本の修正が必要になった場合には修正してもかまわないことを全体で確認しました。練習場所は、教室以外にも他の学級の迷惑にならない範囲で廊下やフロアなどを使用しました。

グループ群読発表会

グループごとに順番に発表していききました。その際、グループで工夫した点を代表者が説明してから始めるようにしました。発表していない生徒は、相互評価カードに書き込みながら聞くようにしました。聞いている生徒に相互評価カードを準備し、記入させることで、より「聞き合い」の効果を高めようと意図しました。記入する項目は、以下の通りです。

- 発表するグループの工夫点を聞き取ってメモする欄
- 工夫点を実行することができたか
- 声の大きさ
- 強弱・緩急・間・抑揚
- 感想

自己評価カードの工夫

学習のまとめとして、前時と本時の2時間について自己評価ができるようにしました。また、1時間目の質問について、もう一度各自の考えを書かせました。群読の練習から発表までの活動を通して、どの程度内容を読み取っているのかを把握しようと考えました。さらには、グループ群読のまとめとして、その感想も記述式で書けるようにしました。

娘はなぜ3回目に席を立たなかったのか

1回目、2回目までは勇気を出せたけれど3回目にはもう勇気を出すことができなかった。
1回目のとしよりは礼を言わなかったけれど、2回目のとしよりが礼を言ったため、はずかしさが増してきて、もう席を立つことができなかった。

本当は、この娘は席を立ちたかったが「冷たさ」とか「関係ない」というようなまわりの雰囲気娘をいたたまれなくしたから。この娘は、人のいたみがよく分かり、やさしい心を持っている。